

BUDŌ

NEWS

今月のニュース

平成 29 年度全日本学生柔道優勝大会



男子優勝＝東海大学

平成 29 年度全日本学生柔道優勝大会



男子優勝＝東海大学

東海大学が連覇！ 22 回目の優勝

全日本学生柔道優勝大会（男子 66 回・女子 26 回）が 6 月 24 日・25 日に日本武道館で開催され、男女とも全国 9 ブロックから集まった大学生のチームが学生柔道日本一を争った。

男子は、東海大学が決勝で明治大学を 3―0 で降して 2 連覇し、最多 22 回目の優勝に輝いた。女子 5 人制では、山梨学院大学が筑波大学との接戦を制して 4 連覇を達成。女子 3 人制は、早稲田大学が創価大学に 1―0 で勝利し、昨年に続いて 2 連覇を達成した。

■男子（62 チーム出場）

昨年、王者に返り咲いた東海大学は、決勝までの試合を 6―0、3―0、4―1、6―1 で勝ち進んだ。主将のウルフは、5 月上旬に右胸を痛めるも、その影響を感じさせない活躍で全試合で勝ち点をあげた。東海大は、ウルフを筆頭に今年も怒濤の快進撃を見せて、12 年連続での決勝進出を決めた。

反対側のブロックでは、昨年ベスト 8 の明治大が 5―1、3―1、6―0、2―1 で勝ち進み、準決勝で

は昨年準優勝の日本大と接戦を繰り広げ、2―2 の内容差で降し、16 年ぶりの優勝に向けて決勝に臨んだ。

◇決勝

東海大	3―0	明治大
先鋒 前田宗哉	引 分	野々内悠真
次鋒 太田彪雅	○大内刈	小川雄勢
五将 香川大吾	引 分	名塚浦佐太郎
中堅 奥野拓未	○反則負	金山天地
三将 ウルフラン	○大内刈	田中源大
副将 村田大祐	引 分	神鳥 剛
大将 影浦 心	引 分	川田修平

先鋒戦は引分。続く次鋒戦、東海大の太田が身長差 12 センチの明治大・小川を物ともせず、鋭い大内刈で畳に抑え込んで技有を奪う。その後、太田は手堅い試合運びで小川の猛攻を凌ぎ、先制して貴重な勝ち点を挙げる。続く五将戦は引分。中堅戦、東海大・奥野と明治大・金山との試合では、奥野は金山に圧力をかけ続け、金山に自分の組手を作らせない。金山は為す術なく指導を 3 つ重ねて反則負。奥野が勝利し、東海大が 2―0 でリードして三将戦を迎える。ここで東海大の主将・ウルフ



男子決勝・五将戦＝東海大・香川（左）
対明治大・名垣浦



男子決勝・次鋒戦＝東海大・太田（上）が
大内刈で技有を奪って抑え込む



男子決勝・先鋒戦＝東海大・前田（右）
対明治大・野々内



男子決勝・三将戦＝東海大・ウルフ（手前）が
明治大・田中から大内刈の技有を奪って優勝を決める



男子決勝・中堅戦＝東海大・奥野（奥）
が明治大・金山に圧力をかける



男子決勝・大将戦＝東海大・影浦（左）が
明治大・川田を攻める



男子決勝・副将戦＝東海大・村田（右）
対明治大・神鳥

◎優勝Ⅱ東海大・上水研一朗監督
「隙のない戦いができるように取り組んできました。稽古は質を突き詰めないといふとあらゆる状況で勝てません。量も求めないといけません。稽古はあくまで質の積み重ねが重要であると考えています」
◎優勝Ⅱ東海大・ウルフアロン選手
「簡単な試合は一つもないと覚悟していました。決勝戦は、欲を言う的一本取りたかったのですが、僕の手で優勝をたぐり寄せられたという点に関しては満足しています」

が登場。体重差約30キロの明治大・田中を相手に堂々とした攻めを見せる。開始1分、小内刈からキレのある大内刈に連絡し、田中を畳に叩きつけて技有を奪う。その後も果敢な攻めを見せて値千金の優勢勝。この時点で東海大の優勝が確定。2連覇を達成した。
副将戦、大将戦では一矢報いたい明治大だったが、ともに引分となり、最終的に3―0で勝利した東海大が、最多記録を更新する22回目の優勝を遂げた。

■女子5人制(32チーム出場)

3連覇中の山梨学院大は2-0、3-1、3-0と順当に勝ち上がり、準決勝では龍谷大を4-1で降して、決勝に進出。

一方の筑波大は4-0、5-0、3-1で勝ち進む。準決勝は、昨年準優勝の環太平洋大を相手に1-0で辛勝。筑波大が、苦しみながらも2年ぶりに決勝の舞台に進んだ。

◇決勝

山梨学院大 1-0 筑波大
 先鋒 出クリスタ○崩壊築固 柴田理帆
 次鋒 月野珠里 引分 内尾真子
 中堅 佐藤史織 引分 能智亜衣美
 副将 新添左季 引分 津金 恵
 大将 泉 真生 引分 糸田春乃

先鋒戦、1年生から優勝に貢献してきた4年生の山梨学院大・出口は、序盤から積極的に攻めていく。試合終盤、筑波大・柴田を足技で崩し、崩壊築固で相手を抑えて一本勝。続く次鋒戦は、体格差で勝る山梨学院大・月野が筑波大・内尾に圧力をかけ続け引分に持ち込む。中堅



女子5人制・決勝先鋒戦=山梨学院大・出口(上)が崩壊築固で一本勝

戦は昨年全日本選抜柔道体重別選手権大会優勝の筑波大・能智が登場。山梨学院大・佐藤は攻め続けるも決まり手はなく能智と引き分ける。副将戦では、昨年グランドスラム東京優勝の山梨学院大・新添が登場し、筑波大・津金と対戦。新添は津金と一進一退の攻防を見せるも、試合は動かず引分となった。

山梨学院大が1-0でリードして迎えた大将戦、後がない筑波大・糸田は序盤から攻勢に出る。相手は、出場した2試合で全て一本勝を決めて勝ち上がった山梨学院大・泉。試合は両者攻めあぐねる展開。最後まで一本を狙って攻め続ける糸田だ



女子5人制優勝=山梨学院大学

が、試合巧者の泉はこれを何とか防ぎ切って引分へ。

山梨学院大は、先鋒の出口の勝利を守り切って4連覇を達成。優勝回数記録を最多の8に伸ばした。

◎優勝=山梨学院大・山部伸敏監督
 「学生たちは本当によく頑張ってくれました。出場した8名だけではなく、部員全員が目標に向かって努力してくれた結果です。本当にわずかな差で1回戦から勝ってきたと思います。最後は苦しい試合だったので、プレッシャーに負けず自分たちの柔道をやってくれました。次に繋げていって欲しいと思います」

◎優勝=山梨学院大・出口クリスタ選手
 「1年生のときは引分が多く、あまり良い内容ではありませんでした。先輩方のおかげで優勝できたので、今回は自分がその立場になることができてすごく嬉しかったです。4年間の決勝の中で一番気持ちが出た試合でした」

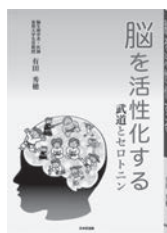


【大会結果】

■男子

◎優勝=東海大
 ◎準優勝=明治大
 ▼第3位=筑波大、日本大
 ▼優秀選手=ウルファロン(東海大)、太田彪雅(東海大)、田中源大(明治大)、神島剛(明治大)、佐々木健志(筑波大)、ダニエル・ディチエフ(日本大)、松井海斗(日体大)、満井均士(近畿大)、二見省吾(國學院大)、飯田健太郎(國士舘大)

好評発売中



A5判・346頁
1,600円＋税

有田 秀穂 著 脳を活性化する

——武道とセロトニン

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経。
その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、誰もが
ができる脳の活性化方法を解説。

◎ご注文・お問い合わせ◎

日本武道館 月刊「武道」編集部
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
http://www.nipponbudokan.or.jp

■女子3人制 (30チーム出場)

決勝は、前年度優勝の早稲田大と6年ぶりの優勝を狙う創価大の対決となった。

◇決勝

早稲田大 1-0 創価大
先鋒 渡邊聖末○反則負 矢部瑞希
中堅 佐藤美祐 引分 岩佐 碧
大将 小野華菜恵 引分 岩佐 遥

先鋒戦は随所で見事な一本を決めてきた早稲田大・渡邊と創価大・矢部の対戦。渡邊は終始攻め手を緩めずに矢部を防戦一方にさせる。指導を重ねた矢部は、試合時間残りわず



女子3人制・決勝先鋒戦＝攻める早稲田大・渡邊 (奥)

かなところで指導3つとなり反則負。続く中堅戦は、両者が攻め切れずに引分。早稲田大が1-0のリードして迎えた大将戦、早稲田大・小野が、創価大・岩佐の必死の攻撃を封じると引分で試合終了。早稲田大が1-0で連覇を達成した。



女子3人制優勝＝早稲田大学

◎優勝Ⅱ早稲田大・川田一洋監督

「必ず優勝するという目標を掲げて見事に有言実行できました。一本を取る柔道を貰ったと思います」

◎優勝Ⅱ早稲田大・渡邊聖未選手

「着実にポイントを取り、2連覇できて安心しました。今後は立技の形も作っていききたいです」

■女子5人制

◎優勝Ⅱ山梨学院大

◎準優勝Ⅱ筑波大

▽第3位Ⅱ龍谷大、環太平洋大

▽優秀選手Ⅱ出口クリスタ (山梨学院大)、津金恵 (筑波大)、米澤夏帆 (龍谷大)、廣木あすか (環太平洋大)

平洋大)

■女子3人制

◎優勝Ⅱ早稲田大

◎準優勝Ⅱ創価大

▽第3位Ⅱ埼玉大、姫路獨協大

▽優秀選手Ⅱ渡邊聖未 (早稲田大)、岩佐遥 (創価大)、榎谷ともみ (埼玉大)、山下優光 (姫路獨協大)

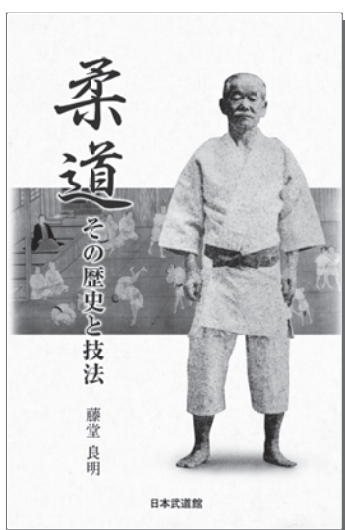
玉大)、山下優光 (姫路獨協大)

好評発売中!

柔道 その歴史と技法

筑波大学体育系教授 藤堂 良明 著

「原点に帰る」には、「原点を知る」必要がある。



四六判・上製・330頁・本体2,400円＋税

柔道の歴史を振り返りつつ、その技法が、どのように形作られてきたのかを、丁寧に解説しています。



武道の稽古は、技を通して精神を磨き、やがて社会のためになるという教育の道でもあった。時代は移り変われども、日本の伝統に培われた[※]武道としての柔道。を見失わないでいただきたいと願うものである。(本書「あとがき」より抜粋)

目次

第一章 組討ちの起こりと技法 体術の起こりと技法 組討ちの体系化と技法	第三章 講道館柔道の歴史と技法 講道館柔道の創設と技法 嘉納治五郎の乱取開発 講道館柔道の行事と整備 警視庁武術大会の勝利と技法 学校体操への柔道導入の試み 学校における柔道普及の実態 高専柔道の起こりと技法 嘉納治五郎の他武道への接近 精力善用国民体育の創案と技法 全日本柔道選士権大会の開催と技法	第四章 第二次世界大戦後の柔道復活と技法 第二次大戦中の柔道界と技法 第二次大戦後の柔道禁止と復活 格技柔道から武道柔道へ 女子柔道の競技化と技法	第五章 柔道技法の変遷と国際化への課題 柔道技法の変遷と特徴 柔道の国際的普及と発展 段位制度の国際比較 柔道の国際化と課題
---	--	---	--

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)

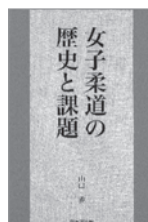


役に立つ 少年柔道指導法

講道館道場指導部長

向井 幹博 著

(A5判・並製・DVD付・414頁)



女子柔道の 歴史と課題

筑波大学体育系准教授

山口 香 著

(四六判・上製・412頁)



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)

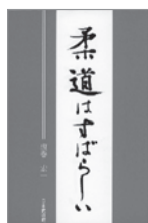


武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)



柔道は すばらしい

柔道塾紀柔館館長

腹巻 宏一 著

(四六判・上製・310頁)



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)



武道 子どもの心を育む

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)

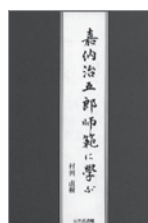


柔道の国際化 —その歴史と課題—

講道館図書資料部長

村田 直樹 著

(四六判・上製・552頁)



嘉納治五郎師範に学ぶ

講道館図書資料部長

村田 直樹 著

(四六判・上製・292頁)

一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構発足記念会

ルールとフェアプレイ精神を守り、 スポーツの価値を守り育もう

「一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構発足記念会」が6月29日、東京プリンスホテル（東京・芝公園）において開かれた。

同機構は、スポーツ界のコンプライアンス（法令順守）の強化を図るため、コンプライアンス教育の充実を図り、より健全なスポーツの普及・振興に資する目的で設立された。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて競技団体を支援し、スポーツの価値を守る狙いがある。事業・活動として、①教育・啓発事業②「スポーツ・コンプライアンス・オフィサー」の育成事業③調査研究事業④相談事業⑤評価・認証事業⑥普及事業⑦機構の目的に合致した事業・活動に取り組んでいくとしている。

武藤芳照発起人代表・理事長のもと、顧問には宗由貴少林寺拳法グループ総裁、三藤芳生日本武道館常任理事・事務局長ほか6名が就任し、名誉顧問には森喜朗、王貞治、山口良治の3氏が就任した。



武藤芳照発起人代表・理事長

式典は午前12時に開会。間野義之発起人・理事の司会で始まった。

はじめに武藤発起人代表・理事長より、「昨今誠に残念なことです、我が国のスポーツ界では様々な社会的事件、不祥事、コンプライアンス違反の事例が続いており、スポーツの持つ価値が損なわれようとしています。IOCの『オリンピック・アジェンダ2020オリンピック・ム

ープレメントの未来を形作る20+20の提言』の中にもコンプライアンスの徹底は含まれており、今やスポーツ界のコンプライアンスの充実・強化は喫緊の重要課題と位置付けられています。本機構は我が国スポーツ界のコンプライアンスの充実・強化を

図り、より健全なスポーツの普及振興とスポーツの価値を保ち、高められるよう尽力してまいります」と開会の挨拶があった。

続いて、来賓祝辞として鈴木大地スポーツ庁長官が「メダルの色や数だけでなく、我が国のスポーツインテグリティ（誠実性・健全性・高潔性）を高め、クリーンでフェアなスポーツを推進し、関係諸団体と一体となつて取り組み、スポーツの価値の一層の向上を目指してまいります」と述べた。

また、女優の水谷八重子氏は「私

の商売の一番の「敵」はスポーツです。私たちは脚本に則つて、それがいかにも本当であるかのごとく演技します。しかし、スポーツは真実です。私共も負けないよう脚本とリアルなプレイの精神を守り、芝居を愛する人々と芝居の価値を守り、育んでまいります。すばらしい強敵、本当におめでとうございます」と述べた。

その後、理事25名と監事1名の紹介があり、有森裕子理事（オリンピック女子マラソン銀メダリスト）や河合純一理事（パラリンピック競技泳金メダリスト）などが登壇し、自己紹介を行った。

続いて、馳浩理事（前文部科学大臣・スポーツ議員連盟事務局長）の乾杯の挨拶があった。歓談の後、最後に羽田雄一郎理事（参議院議員）が閉会の辞を述べて、式典は盛会裏に終了した。



2018年の開催に向けて合意文書



会合の様子

「ロシアにおける日本年」及び「日本におけるロシア年」組織委員会共同委員長間会合が7月7日、東京で開催され、高村正彦日本側組織委員長（衆議院議員・日本武道館会長）及びシユヴァロフ・イーゴリ・イヴァノヴィッチ・ロシア側組織委員長（ロシア連邦第一副首相）ほか関係者が出席した。

この会合では、2018年に開催される「ロシアにおける日本年」「日本におけるロシア年」の準備状況と、今後の活動内容について意見交換を行い、両国共通のロゴマーク及びキャッチフレーズを承認した。

会合には日本側組織委員会委員の三藤芳生日本武道館常任理事・事務局長も出席し、予定される事業について概要説明を行った。

会合は、両国の出席者とも随所で笑顔が見られる和やかなムードで進み、2018年に向けて合意文書を取り交わして終了した。

マンガ・武道の偉人たち
田代しんたろう



マンガ・武道の偉人たち

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

B5判・302頁・本体 1,000円+税

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯をマンガで学べる。
収録偉人一覧：嘉納治五郎（柔道）、高野佐三郎（剣道）、阿波研造（弓道）、双葉山（相撲）、船越義珍（空手道）、植芝盛平（合気道）、宗道臣（少林寺拳法）、園部秀雄と三田村千代（なぎなた）、鶴沢尚信（銃剣道）

ご注文・お問い合わせ 日本武道館 月刊「武道」編集部 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<http://www.nipponbudokan.or.jp> インターネットでのご注文は、「武道館単行本」と検索！



月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。